16

No.

浅原で一杯喰ふ
労働運動と早合点した
直方署の縮尻

福岡県鞍手郡内の炭坑方面にて近来全国労働総同盟の浅原健三外二名が頻に暗中飛躍を試み何事か劃策中との風評が流布されたので所轄直方署でも之が真相を内偵して居る折柄廿七日午後一時頃同署の立石刑事が新入村字知古方面に出掛けて居ると前記浅原一派四名が同所の料理屋備後屋に登楼した上にて密議を凝らして居るとの事を探知し備後屋に臨検した所果して浅原と名乗る男が同行三名と共に会合飲中だつたので同刑事は直に本署に引揚げ金子署長に報告すると同時に高等係員が更に備後屋に急行し調査して見ると本物の浅原健三は姿も見へず其管嘉穂郡幸袋町製鉄所二瀬出張所所属高尾炭坑事務員の浅原某が同志三名と共に会飲中で全く浅原違ひであつた事が知れ係員も開いた口が塞がらず本署に引揚げたが同日は本物の浅原健三が田川郡の郷里から直方経由にて八幡市に引揚げた事実があるので自然斯かる誤解を生むに至つたものらしくとんだ間違ひをやつたものだ

岩瀬坑休止
平穏に解決せん

福岡県田川郡添田町蔵内鉱業株式会社経営の岩瀬炭坑は来る十一日限り事業を休止することなり稼働者に対しては同鉱業所経営の峰地第一坑に転ずる者にも八円大峰一坑及び二坑に転ずる者には十円大峰三坑に転ずる者には十二円の移転料と外に八円の肩入金を給し又同鉱業所外の炭坑に行く者に対しては旅費として金一円を原籍に帰郷する者に対しては旅費の実費又は一人に一円宛の手当を給する事を発表した同坑現在の稼働者は男六百十一名女三百名合計九百十一名であるが三月迄には田中納屋が峰地一坑に赤木納屋が大峰一坑に転ずるに決し居る外中村納屋が峰地一坑か大峰かへ転ずる筈で其の他の児玉岩閑是木筋田猪田中等の納屋は多分解散するらしく其筋では同坑の事業休止に就き萬一を警戒してゐるが目下の所平穏に解決を見る模様である

工場と稼働者動態

久留米警察署管内の工場法適要工場に於ける四月中の稼働者の移動は解雇卅五工場、人員男百八十八名、女三百五十七名、合計四百四十五名に達したに反し雇入れは廿九工場、人員男九十九名、女百八十四名、合計二百八十三名に過ぎず男女合計百六十二名の減少を示して居る、右は同期に於て酒の仕込期を終つたのが主なる原因ではあるが財界不況の影響と見る可く本年一月以来引き続き稼働者数は減少の歩を辿つて居る尚は四月末現在の工場数は六十八工場にして稼働者は男一千四百五十一名、女二千九百八十四名合計四千四百三十五名である

お客の無い門司の
食堂と宿泊所

門司市社会課では労働者救済策でして簡易食堂同宿泊所を新設し三月中旬から開設して居るが開業開始以来今日に至る迄殆んど一名の宿泊者も食客等なく成績甚だ不良であつて簡易食堂は単に市吏員の弁当供給所と化して居る状態であるが簡易宿泊所は一泊十銭の宿料であるのみならず宿泊するに当り二名の書記は恰も警察官の如き態度を以て之に臨み住所氏名身元職査を行ふ等窮屈なる手数を要し客の感情を悪からしむるが原因と為れるもの、如く一般に非難の声が少くない殊に労働救済所の如き全然無料であるに拘らず一泊十銭の宿泊料を徴収するは当を得ざる次第であつて同所規程の改正を為すの要あるべしと云ふ者がある